

平成16年度 中小企業組合検定試験

問題と解答 (10) 組合運営 ②

全国中小企業団体中央会

第2問

次の文章は、組合の経済事業について述べたものである。文中の□の中
に下記の語群の中から最も適切な語句を選び、その記号を解答用紙の解答欄に記
入しなさい。

1. 官公需共同受注事業で受注した工事を行う方法としては、□①方式
と□②方式がある。□①方式では、組合が受注した工事の施工を担当
することになった組合員が、組合の監理・監督の下に、担当した部分を責
任施工することになる。
2. 組合は、定款で定めている金融機関に対し、組合員の債務を保証し、委任を
受けて、債権の取り立てを代行することができる。金融機関以外の者に対し
て負担する組合員の事業に関する債務についても□③により保証できる。
3. 金銭消費貸借証書には□④と□⑤の2つがある。貸付を証拠立てる
という点においては、両者に何らの差異はないが、□④を作成した場合
は、裁判上の証拠力が強く、また、強制執行認諾の条項を挿入しておけば強
制執行の□⑥とすることができる。
4. 質権とは、その目的物を□⑦の手許に留め置き、債務が返済されない場
合は、目的物を処分して優先返済を受ける担保権である。
5. 免責的債務引受は債務者に代わって□⑧が債務を引き受け、旧債務は免
責され、新債務者に債務を履行させる契約である。免責的債務引受は旧債務
者の意思に□⑨。
6. 員外利用制限の特例として、地域住民等の求めに応じて、組合が所有する体

育施設等の特定の施設を利用させる場合があるが、その際の員外利用の特例割合は〔 ⑩ 〕となっている。

〔語 群〕

- | | | | |
|----------|-----------|--------------|----------|
| ア. 50% | イ. 75% | ウ. 無制限 | エ. 私署証書 |
| オ. 公正証書 | カ. 任意証書 | キ. 取立名義 | ク. 債務名義 |
| ケ. 共同施工 | コ. 分担施工 | サ. 総合施工 | シ. 総会の承認 |
| ス. 定款の定め | セ. 反しても有効 | ソ. 反しないことが要件 | |
| タ. 債権者 | チ. 債務者 | ツ. 保証人 | テ. 第三者 |

〔解答〕

第2問

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
コ	ケ	ス	オ	エ	ク	タ	テ	ソ	ウ

第3問

次の文章は、組合の共同事業の運営に当たっての留意点について述べたものである。文中の〔 〕の中に下記の語群の中から最も適切な語句を選び、その記号を解答用紙の解答欄に記入しなさい。

- 各共同事業ごとに精密な事業計画及び〔 ① 〕計画を立てるようにすること。
- 共同事業の運営については〔 ② 〕を確立するとともに、担当者の配置については〔 ③ 〕主義をとり、かつ担当者には機敏な活動ができるよう大幅な〔 ④ 〕を与えること。
- 生産、加工、販売等の共同事業の実施に当たっては、事前に十分な〔 ⑤ 〕を行い、事業の〔 ⑥ 〕を決定すること。
- 共同事業は、一部の組合員の〔 ⑦ 〕に偏することなく、全組合員が〔 ⑧ 〕に利用できるように工夫すること。
- 組合の事業運営は〔 ⑨ 〕を基準として行い、事業の〔 ⑩ 〕配当制を活用すること。

平成17年10月15日

中小企業だより

第三種郵便物認可

〔語 群〕

ア 合理性
オ 利用分量
ケ 効 果
ス 出 資 額
チ 権 限

イ 役 割
カ 公 平
コ 責任制
セ 市 価

ウ 適材適所
キ 簿 価
サ 規 模
ソ 市場調査

エ 利 用
ク 財 務
シ 適時的確
タ 信用調査

〔解答〕

第3問

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
ク	コ	ウ	チ	ソ	サ	エ	カ	セ	オ

(次号につづく)